

●南海トラフ沿いの地震活動

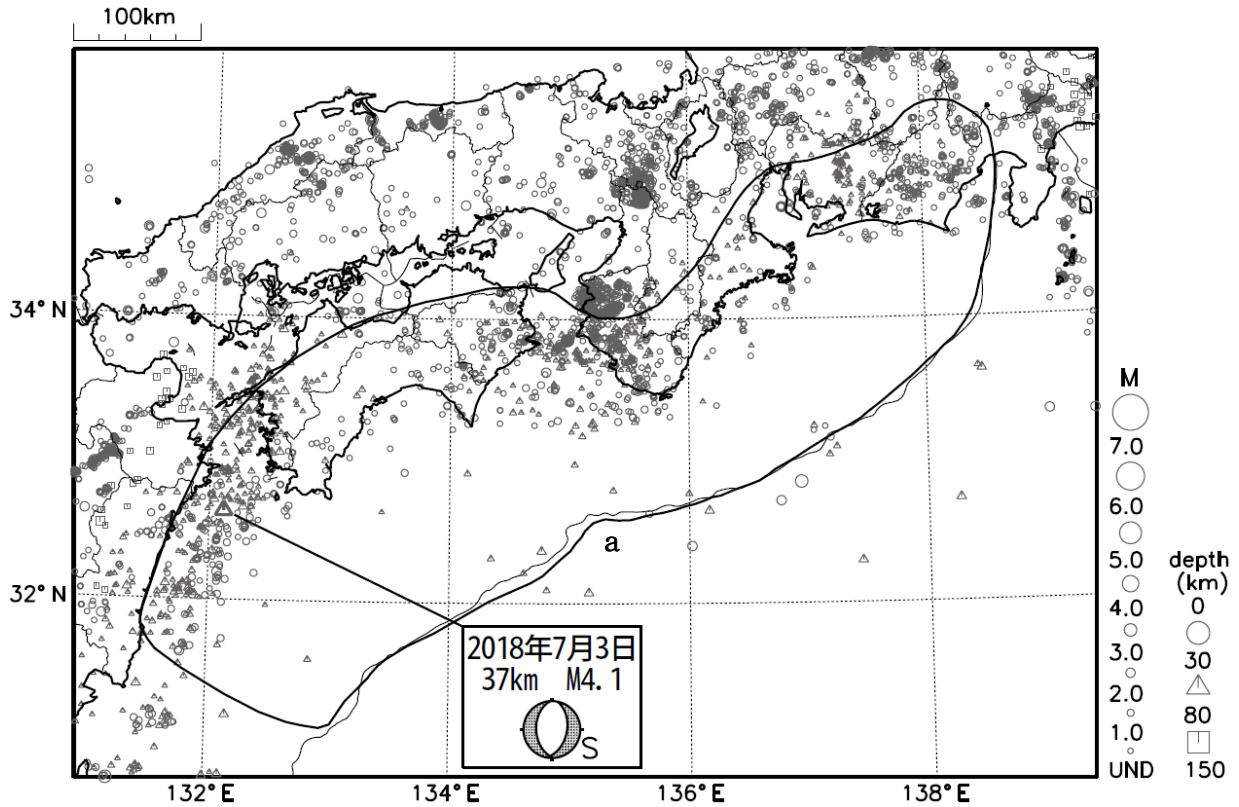


図1 震央分布図 (2018年7月1日～7月31日、深さ0～150km、Mすべて)

- ・ 図中の吹き出しは、南海トラフ巨大地震の想定震源域 (領域 a 内) で最大震度3以上を観測した地震もしくは M3.5 以上の地震、それ以外 (領域 a 内以外) の陸域 M5.0 以上・海域 M6.0 以上とその他の主な地震。
- ・ 震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。
- ・ 発震機構解の横に「S」の表記があるものは、精度がやや劣るものである。

○南海トラフ巨大地震の想定震源域およびその周辺の地震活動：

【最大震度3以上を観測した地震もしくはM3.5以上の地震及びその他の主な地震】

月/日	時:分	震央地名	深さ (km)	M	最大震度	発生場所
7/3	20:38	日向灘	37	4.1	3	フィリピン海プレート内部

※震源の深さは、精度がやや劣るものは表記していない。

○深部低周波地震（微動）活動期間

四国	紀伊半島	東海
<p>■香川県東部、香川県西部 7月19日</p> <p>■徳島県北部 (特段の活動はなかった)</p> <p>■香川県西部、徳島県北部、愛媛県東予 7月12日～16日、7月28日～30日</p> <p>■愛媛県東予、瀬戸内海中部 7月14日、7月20日</p> <p>■愛媛県南予、伊予灘 7月3日</p> <p>■愛媛県中予、愛媛県南予 ■愛媛県南予、伊予灘 <u>7月10日～28日</u>・・・・・・・・(1) 7月30日</p> <p>■愛媛県南予、豊後水道 7月10日～11日、7月15日 <u>7月18日～20日</u>・・・・・・・・(2)</p>	<p>■伊勢湾、三重県北部、三重県中部 ■三重県中部、三重県南部、奈良県 7月30日～(継続中)</p> <p>■三重県中部、三重県南部、奈良県 7月2日～3日 7月20日 7月26日～27日</p> <p>■奈良県 ■和歌山県北部、和歌山県南部、紀伊水道 7月7日～8日 7月12日～13日 7月20日～22日 7月29日～30日</p>	<p>■長野県南部 (特段の活動はなかった)</p> <p>■愛知県東部、愛知県西部 7月3日～4日 7月7日～8日 7月13日～15日 7月23日 7月26日～27日</p>

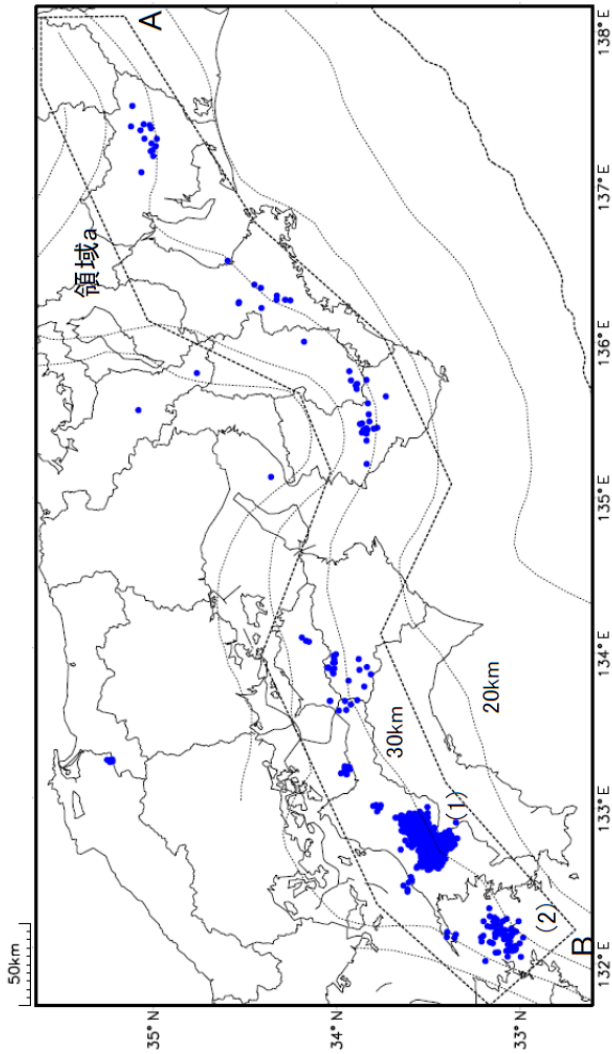
※深部低周波地震（微動）活動は、気象庁一元化震源を用い、地域ごとの一連の活動（継続日数2日以上または活動日数1日の場合で複数個検知したもの）について、活動した場所ごとに記載している。

※ひずみ変化と同期して観測された深部低周波地震（微動）活動を赤字で示す。

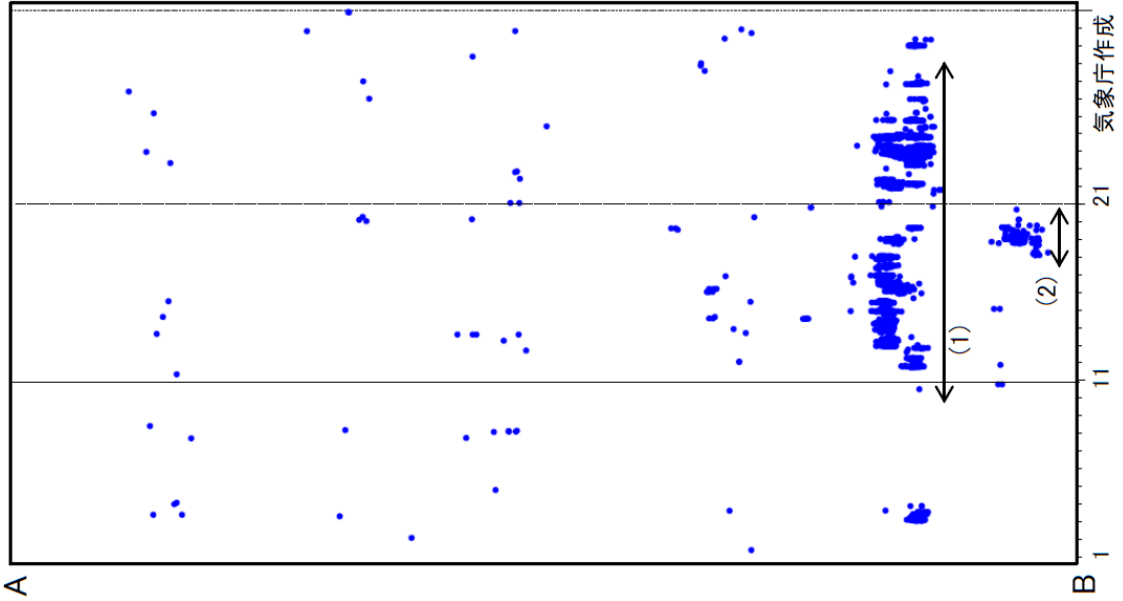
※上の表中（1）（2）を付した活動は、今期間、主な深部低周波地震（微動）活動として取り上げたもの。

深部低周波地震(微動)活動

深部低周波地震(微動)の震央分布図(2018年7月1日～7月31日)



領域a(点線矩形)内の時空間分布図
(A-B投影)



主な活動

番号	活動場所	期間
(1)	愛媛県中予から愛媛県南予	7月10日～7月28日
(2)	豊後水道	7月18日～7月20日

●: 深部低周波地震(微動)の震央

点線は、Hirose et al.(2008)、Baba et al.(2002)によるフィリピン海プレート上面の深さ(10kmごとの等深線)を示す。

図2 深部低周波地震活動(2018年7月1日～2018年7月31日)